

佐渡福祉会（法人全体）

1 令和2年度事業概要

佐渡福祉会定款の目的、事業計画にもとづき、新型コロナウイルス感染症に対応した上で、法人全体、障害者支援施設(岩の平園、第二岩の平園)、障害福祉サービス事業(あんずの家、まつはらの家、そよかぜ、グループホーム)、相談支援事業(こもれび)、障害者就業・生活支援センター事業(あてび)の円滑な経営に努めた。

(1) 新型コロナウイルス感染症の対応及び影響

各施設にて年間通してマスク着用、検温実施等、より一層の健康管理に努めた。施設内に感染を持ち込まないことを徹底し、各種活動の一部を制限した。盆踊り大会と岩の平園祭は中止とした。一時的に施設利用を自粛した人はいたが、利用率の大幅な低下、事業収入の下落等の大きな影響はなかった。

(2) まつはらの家新規事業「BAKERY パンピーノ」の円滑な実施

4月に事業開始し、5月から法人内施設へのパン提供を開始した。6月11日に店舗をオープンし、販売も開始した。多くのお客様が来店され、順調な売上状況が継続している。製造・販売に入る利用者も増えており、工賃も増額している。

(3) 施設利用者の高齢化・重度化への対応

施設内での生活環境整備とともに、関係機関・事業所等との連携による対応にも取り組んだ。状態に応じて、介護保険施設等への移行に向けても調整した。

(4) 財務健全化及び計画的な施設整備

事業収入については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、重度者の支援等により、前年度から増額となった。岩の平園・第二岩の平園グラウンド一部崩落復旧工事等により、施設整備計画見直しを行った。

(5) 職員育成を目的とした人事考課制度導入の準備

人事考課制度は「人材育成とよりよい職場づくり」を主な目的として、令和4年度からの導入への準備を進めた。職員への説明、考課者への研修も実施した。

(6) 働き方改革実践による職場環境の整備

労働時間の適正な記録と把握によるサービス残業解消、時間外労働削減を目的に勤怠管理システムを導入した。業務内容見直しとともに、記録システム導入等による事務処理負担軽減にも取り組んでいる。

(7) 法人本部の事務業務集約に向けた準備

法人本部機能強化、集約に伴う事務スペース確保のために地域交流ホームを改修し、令和3年度当初からの事務室移転に向けた準備を進めた。

(8) 職員育成に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染症対応により、育成及び資質向上に必要な集合研修の多くが実施されなかったが、各施設でのネットワーク環境整備、関係機器購入により、オンライン研修の受講及び実施にも取り組んだ。新採用職員育成については、選任されたエルダーによる教育等により、担当できる業務が増加している。

(9) 課題・その他

新型コロナウイルス感染症対応は今後も継続する。その中でも、利用者のさまざまな状態、特性に応じた生活支援、就労支援、相談支援を継続する必要がある。佐渡市の福祉関係部署との協議は定期的実施しているが、利用者支援等のために関係機関や他法人の関係者等との連携・調整がさらに重要になっている。